

【C年】

聖霊降臨後第二主日

特定七

すべての良い賜物を造り、これを与えてくださる力ある神よ、み名を愛する愛をわたしたちの心に植え、まことの信仰を増し加え、すべての善をもつて養い、み恵みのうちにこれを保たせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はゼカリヤ書第十二章八節から」

8 その日、主はエルサレムの住民のために盾となられる。その日、彼らの中で最も弱い者もダビデのようになり、ダ

ビデの家は彼らにとって神のように、彼らに先立つ主の御使いのようになる。

9 その日、わたしはエルサレムに攻めて来るあらゆる国を必ず滅ぼす。10 わたしはダビデの家とエルサレムの住民に、憐れみと祈りの霊を注ぐ。彼らは、彼ら自らが刺し貫いた者であるわたしを見つめ、独り子を失ったように嘆き、初子の死を悲しむように悲しむ。

1 その日、ダビデの家とエルサレムの住民のために、罪と汚れを洗い清める一つの泉が開かれる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第六十三編 一〇八節

1 神よ、あなたはわたしの神、わたしはあなたを求め＝
水の無い荒れ果てた土地のように、わたしの魂はあな
たを慕い、体はあなたを渴き求める
2 聖所であなを仰ぎ＝ み力と栄光を見た
3 あなたの恵みは命にまさり＝ わたしの口はあなたを
たたえる
4 命のある限り、あなたをほめたたえ＝ 手を高く上げ

てみ名を呼び求める

5 髓と脂でもてなされたように、わたしの魂は満ち足

り＝唇は喜びに溢れ、わたしの口は賛美を歌う

6 床の中であなたを思い起こし＝夜通し、あなたのこ

とを思う

7 あなたはわたしの助け＝み翼の陰にわたしは喜び歌

う

8 わたしの魂はあなたに頼り＝あなたの右手はわたし

を支える

使徒書

朗読者 「使徒書はガラテヤの信徒への手紙 第三章二十三

節から」

23 信仰が現れる前には、わたしたちは律法の下で監視さ

れ、この信仰が啓示されるようになるまで閉じ込められてい

ました。24 こうして律法は、わたしたちをキリストのもと

へ導く養育係となったのです。わたしたちが信仰によつて

義とされるためです。25 しかし、信仰が現れたので、もは

や、わたしたちはこのような養育係の下にはいません。

26 あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結

ばれて神の子なのです。27 洗礼を受けてキリストに結ばれ

たあなたがたは皆、キリストを着ているからです。28 そこ

ではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分
の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリ
スト・イエスにおいて一つだからです。29 あなたがたは、
もしキリストのものだとするなら、とりもなおさず、アブラ
ハムの子孫であり、約束による相続人です。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

（二）で聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第九章十八節以下に記された主

イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

18 イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちは共
にいた。そこでイエスは、「群衆は、わたしのことを何者だ
と言っているか」とお尋ねになった。19 弟子たちは答えた。
『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言

う人も、『だれか昔の預言者が生き返ったのだ』と言う人もいます。」²⁰ イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「神からのメシアです。」

²¹ イエスは弟子たちを戒め、このことをだれにも話さないように命じて、²² 次のように言われた。「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」²³ それから、イエスは皆に言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」²⁴ 自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを救うのである。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」